

第4回農林水産業・地域の活力創造本部 議事要旨

日時：平成25年8月8日（木） 9時33分～58分

場所：官邸2階小ホール

出席者：安倍内閣総理大臣（本部長）、菅内閣官房長官（副本部長）、林農林水産大臣（副本部長）、新藤総務大臣、麻生財務大臣、下村文部科学大臣、茂木経済産業大臣、太田国土交通大臣、石原環境大臣、根本復興大臣、森内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）、甘利経済再生担当大臣兼内閣府特命担当大臣（経済財政政策）、稲田内閣府特命担当大臣（規制改革）、丸川厚生労働大臣政務官、島尻内閣府大臣政務官

加藤内閣官房副長官、世耕内閣官房副長官、杉田内閣官房副長官、長谷川内閣総理大臣補佐官兼内閣広報官、古谷内閣官房副長官補

高市自由民主党政務調査会長、上田公明党政務調査会長代理

○ 冒頭、菅内閣官房長官から以下のとおり発言があった。

当本部は、本年五月二十一日に立ち上げ、その後、林農林水産大臣から「攻めの農林水産業」の検討状況について御説明を頂き、株式会社ローソン代表取締役CEOの新浪さんからは「農業の競争力強化に向けて」と題して御提言を頂き、また、氷見市農業協同組合代表理事組合長の川上修さん、グリーンリーフ株式会社及び野菜くらぶ株式会社の代表取締役の澤浦彰治さんからヒアリングを行うなど、精力的に議論を行ってきたところ。これらも踏まえつつ、第二次安倍内閣における農林水産行政の礎となる農林水産業・地域の活力創造プランの作成に向けた具体的な検討をいよいよ本格的に進めていきたいと考えている。そこで、本部長である総理から、冒頭、検討に当たっての御指示を頂くこととする。

○ これを受けて、安倍内閣総理大臣から以下のとおり発言があった。

安倍内閣においては、あらゆる努力を傾け、農林水産業を若者に魅力ある産業にし、同時に、日本の農山漁村、ふるさとを守っていく決意。このため、内閣が一丸となって、内閣官房長官及び農林水産大臣を中心に、精力的に施策の検討を進めてもらうために、改めて私から指示させて頂く。

検討にあたっては、これまでの当本部や産業競争力会議等での議論を踏まえ、若者たちが希望を持てる「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」を創り上げ、その成果を国民全体で実感できるものとして欲しい。

その際、特に以下の3点を基本として検討して頂くようお願いを申し上げる。

まず、農山漁村の有するポテンシャルを十分に引き出すことにより、農業・農村全体の所得を今後10年間で倍増させることを目指し、我が国全体の成長

に結びつけるとともに美しく伝統ある農山漁村を将来にわたって継承していくこと。

そして、消費者の視点を大切に、農林水産業者が経営マインドを持って生産コストを削減し収益の向上に取り組む環境を創り上げること。

そして、3番目にチャレンジする人を後押しするよう、規制や補助金などの現行の施策を総点検し、農業の自立を促進するものへと政策を抜本的に再構築すること。

以上、本部員におかれては、この3点を念頭に置いて「強い農林水産業」を創りあげるための施策の検討をよろしくお願いしたい。

○ 続いて、菅内閣官房長官から以下のとおり発言があった。

これまでのヒアリング等を踏まえ、内閣官房において、各府省が連携して取り組むべき検討課題について整理を行った。

この検討課題に沿って施策の各論の議論を進めることとし、これらの施策の検討に当たってお願いしたいことについて、安倍内閣総理大臣から示された指示を踏まえ、補足させて頂く。

まず、「農山漁村の有するポテンシャルを十分に引き出す」ために、農山漁村の豊富な資源を使って、付加価値の向上を目指すことが重要。このため、民間の力を活用した6次産業化を進めることによって、農業・農村の所得向上、ひいては我が国経済全体の成長に結びつけていただきたい。

次に、「消費者の視点を大切に」することは、農林水産業と農山漁村の持続的な発展を目指すために重要。農林水産業者が常にマーケットを意識した経営を行い、生産コストの削減を通じて収益を向上させることができるよう農林水産業の競争力強化に向けた環境整備をしていただきたい。

さらに、「チャレンジする人を後押しする」観点から規制や補助金などの現行の政策を総点検し、政策資源を担い手に重点化し、農業の自立を促すものへと政策を抜本的に再構築していただきたい。これにより補助金になるべく依存しない農業の実現を目指していただきたい。こうした観点から、経営所得安定対策を見直すとともに、JA等関係団体の役割も含め農業の成長産業化に向けて事業や流通の在り方の見直しに取り組んでいただきたい。

また、農地中間管理機構についても、農地の面的集積により生産コストを引き下げ、そのメリットを消費者に還元していくという観点に立ち、規制・補助金の見直し等の環境整備と併せ、受け手のニーズを踏まえる、農地の滞留を防ぐ、競争力の強化に向けた具体的なコスト削減目標を立てる、地方自治体と十分な連携・分担を行うことなどが重要。こうした点に配慮いただき、当本部でも十分に吟味していきたい。

以上のことについては、産業競争力会議、規制改革会議、国家戦略特区ワー

(未定稿)

キンググループでも議題としていただいた上で、最終的にはこの本部で決定することとする。

なお、この本部での検討に当たっては、縦割りを排し、各府省の連携を深めることが重要であり、本部員におかれては常にそのことを念頭に精力的に取り組んで頂くようお願いする。

○ 続いて、林農林水産大臣から以下のとおり発言があった。

当省としては、従来から、総理の指示も踏まえ、「攻めの農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」などの実現に向け、攻めの農林水産業推進本部において施策の具体化を進めているところ。本日夕方にも、この本部を開催し、総理の御指示や問題意識を省全体で共有して、検討を加速化するように指示したいと考えている。

概算要求では、関係府省と共同・連携して要求する事業を打ち出すことにより、政府一体となって農林水産業・地域の活力創造を推進するメッセージとしたいと考えている。

一例であるが、新しい木材の需要を創出するために、戸別の住宅というのは人口も増えないことから、これに加えて、公共施設の木造化が重要な手段。例えば、学校校舎の木造化、内装の木質化は、単に木材の需要創出にとどまらず、子どもたちに木の良さを伝える、また、子どもたちの情緒や健康のためにも良いというデータもあるので、文部科学省の御協力を頂きながら、一層の推進を図っていきたい。

もう一つ、規制改革については、関係府省の御協力を要するものであり、改めて関係府省の御協力をお願いする。

○ 稲田内閣府特命担当大臣(規制改革)から以下のとおり発言があった。

先月26日に第13回規制改革会議を開催し、農業ワーキング・グループを含めた5つのワーキング・グループの設置を決定したところ。

規制改革会議としても、総理の御指示を踏まえ、強い農業、農業の成長産業化の実現に資する規制改革を幅広い観点から、精力的に検討してまいりたい。

○ 甘利経済再生担当大臣兼内閣府特命担当大臣(経済財政政策)

総理や官房長官から御発言があったように、若者たちが希望を持てる強い農林水産業を創り出し、農業を成長産業とすることは、日本経済再生の鍵を握る重要な課題。

私が担当する産業競争力会議においても、農業について、今後議論を再開する予定であり、本部の議論に貢献していきたいと考えているので、関係大臣の御協力をお願いしたい。

(未定稿)

なお、日本再興戦略においては、農地の集約化を促進するため、「農地中間管理機構」を創設することとし、秋までに具体的な案を固めることとしている。

以前も申し上げたが、中間管理機構が借り受けた農地の貸出しが進まないまま長期間が経過し、その間のリース料等を国費で賄い続ける、いわば農地の「塩漬け機構」となることを危惧している。そのような心配のない制度設計となるよう、農林水産省ならびに関係機関に改めて強く要請したい。

○ 高市自由民主党政務調査会長から以下のとおり発言があった。

今朝9時から自民党でも同じ名称の会議を開いてきたところ。概算要求に向けて、私どもの公約で農山漁村関係のものが全体で17項目あり、そのうち予算が必要なものが14項目あり、順次これを実行して、10年間で所得倍増という目標を政府与党あげて実現していきたい。その中でも特に農地の集約・集積をしっかりと進めて頂きたいということ。自民党の農政の担当者からは、農地の集約に当たっては農業委員会、JAの知見、人間関係ネットワークといったものを活用頂きたいとの要請もあった。

また、学校給食の活用についても、自民党の公約でも教育の欄に書かせてもらっているが、カロリーベースではなく、食材ベースで8割、必ずしも地場のものを使えないケースもあるが国産品を使用することを要請している。

予算措置に向けて大切な時期であるので、各府省のお力添えを頂きたい。

○ 新藤総務大臣から以下のとおり発言があった。

総務省としては、「地域の活性化なくして日本経済の再生なし」の考えに基づき、私を本部長とする「地域の元気創造本部」をつくっている。

この中で、特に、地方公共団体と地域の金融機関が同じ額を出資しながら、ともに地域活性化を図っていく「地域経済循環創造事業交付金」というものを補正予算を使って立ち上げている。

これまで、67事業、21.8億円を交付決定したが、なんと、その中の約8割が農林水産業関連。例えば、徳島では地鶏を使って鶏糞を肥料として活用した循環エサを開発した「阿波尾鶏」プロジェクトがある。また、北海道の芦別では、ホテルの燃料に木質のチップを使用し、(林業者が)輸入重油の代金相当を稼ぐといった経済の循環を促すような仕組みが始まっている。

先程の総理の御指示も踏まえて3点取り組みたいと思っている。1つは今申し上げた「地域経済イノベーションサイクル」をはじめとして地域活性化の観点からしっかりとしたプロジェクトを作っていくということ。

もう1つは最先端のICTの活用。センサー技術の応用、収穫、出荷、流通、海外展開に至るまで一括したコンピューターによる管理などによりコストを下げながら農業生産性を向上させるといったことができるのではないかとモデル

プロジェクトをやろうということで研究をしている。農業の分野でもイノベーションを起こすということ。

最後に、官房長官からも触れて頂いたが、規制緩和や税の優遇を農業において考えられないかと国家戦略特区のプロジェクトの中に良いものは入れていきたいと考えているので、皆様方何か良いアイデアがあればお寄せ頂きたい。良いアイデアは国家戦略として取り組んでいこうということを考えている。

○ 下村文部科学大臣から以下のとおり発言があった。

林農林水産大臣からお話のあった学校施設への木材利用については、平成23年度に新しく作られた学校施設では15.2パーセントが木造施設となっている。木材利用は、柔らかで温かみのある感触や優れた調湿性があることから、学習環境の改善に効果が期待できるとともに、地域の活性化にも資するものと考えており、引き続き、地方公共団体が積極的に取り組めるよう、支援に努めたいと考えている。

また、自民党高市政調会長からお話のあった学校給食については、さらに地産地消の割合を高めることに努めてまいりたい。引き続き関係省庁と連携しながら取組を強化してまいりたい。

○ 根本復興大臣から以下のとおり発言があった。

これまで、被災地の復興においては、津波被害を受けた漁港における高度衛生管理の導入や、農地復旧にあわせた圃場の大区画化や担い手への利用集積など将来を見据えた取組を進めてきた。

更に、「新しい東北」の創造に向けて、高い発信力を持った地域資源を活用する社会の実現を目指し、先進的なビジネスモデルの構築を支援する事業を開始したところであり、今後とも当本部と積極的に連携してまいりたい。

また、各地域においても、今回の検討の方向性に沿って、地域の置かれた状況を踏まえて戦略的に取組むことが重要と考えている。

○ 麻生財務大臣から以下の発言があった。

2点ある。甘利大臣からも御指摘があったが、検討課題の1の(3)の①の農地中間管理機構について。耕作放棄地になりつつある農地も含め農地を集めてきちっとするところまではいいのだが、その農地を借りて使ってくれる人を先に探しておかないといけない。借りてくれる候補者がいないときに、県外の人にも貸すのかといったことも決めておかなければいけない。そうしないと(機構に農地が)溜まるだけ溜まって、金だけ出ていくというのはいかがなものか。ただ農地中間管理機構はものすごくいいアイデア。今申し上げたことに関して御配慮頂ければと思う。

もう1点。総理の御指示も踏まえ、攻めの農林水産業というものをやってみる。日本の農産物は海外で高く売れる。付加価値が3つある。うまい、きれい、安

(未定稿)

心。あまおうというイチゴを例にとると、上海やサウジアラビアで非常に高く売れている。ただ、農家にはあまり金になっていないとも聞く。流通ルートが重要であり、農林水産大臣にも指導頂きつつ、流通商社も使って売り込んだらどうか、組んだらどうかと思う。今後検討していただきたい。

○ 林農林水産大臣から以下のとおり発言があった。

特に甘利大臣から発言のあった農地中間管理機構については、秋の臨時国会に法案が出せるよう準備しているところ。かねがね御指摘のあったところについては、重点的に検討しているところであり、説明の機会を設けたい。

総理が演説で使って頂いた宮城県の舞台ファームは、アイリスオーヤマと組んで、流通はアイリスオーヤマの店舗を使い、ジョイントベンチャーで会社を作っているの、将来的には肥料や機械をアイリスオーヤマから買うということも視野に入れているようである。アイリスオーヤマはホームセンターを持っており、その店舗で米を売るということは今秋から始まると聞いている。そういった取り組みを安心してできるようにしたい。

○ 最後に、菅内閣官房長官から、以下のとおり本部の検討スケジュールについて説明があった。

8月末から、各論の議論をスタートする。先ほど申し上げたように、産業競争力会議、規制改革会議等で行われる農林水産業の議論についても当本部で取りまとめていきたいと考えている。十一月末目途には、農林水産業・地域の活力創造プランを取りまとめたいと考えているので、関係閣僚の御協力をよろしくお願いしたい。

以上

文責：内閣官房副長官補付